



桜井谷小学校だより

令和4年(2022年)8月25日

8月号

今日から 2学期です。
2学期も がんばろう!



今日、8月25日(木)より2学期が始まりました。

みなさま、夏休みはいかがでしたか?新型コロナウイルス感染症の感染者数はたいへん増えていますが、行動規制のない3年ぶりの夏休みとなりました。久しぶりに田舎に帰ったり、旅行をしたりと子どもたちにとっては楽しい夏休みになったのではないのでしょうか。ただ、コロナはまだまだ広がっていますので、感染予防対策を講じながら学校生活を送っていくことが大切です。

毎朝の検温は引き続きお願いいたします。また、「コドモン」でお知らせしたとおり、2学期からは「コドモン」で検温の結果を知らせていただくようになります。これまでの紙の「健康観察カード」は廃止となりますので、よろしくをお願いいたします。体調面で気になることなどありましたら、「コメント」欄に入力していただくと担任が確認いたします。もちろん連絡帳でのお知らせも今まで通りできますので、遠慮なく気になること等、担任までお知らせください。



人には落ち込みから回復する力がある ~レジリエンス~

「失敗したり事故や災害にあったり、親しい人と別れたりするととても落ち込みます。もう二度と立ち直れないと思うこともあるかもしれませんが。しかし実際には時間が経つにつれ、少しずつ立ち直り、心の傷も癒されていきます。それは私たちが「レジリエンス」という落ち込みから立ち直る力を持っているからです。」『元気・しなやか・へこたれない心を育てる56のワーク』(合同出版)より

この「レジリエンス」という言葉を初めて聞いたのは、ちょうどコロナが流行りだしたころでした。何かわからないことに不安や恐怖を感じて、心の安定が保てないとき、私たちに「レジリエンス」という力があることを知りました。前向きに物事をとらえて、立ち直っていく。たやすいことではないですが、その力があることを信じて日々を過ごしていくときっと良いことがある!と思います。

5年 地域ボランティアさんと米づくり

夏休みに、防鳥ネットをはきました。

桜井谷の特色のひとつに「農ある学校」ということがあります。平成元年(1989年)から社会科・理科の時間の一環として5年生が輪切りにしたペットボトルに土を入れて苗を植え、米の成長を観察したり、その後、遠く滋賀県まで田植え体験に行ったりしていました。そんな中、学校の中で田植えができたらええやん!と地域の方々が田んぼを整備してくださることになったのが、今から13年前です。ユンボなどの重機を使い校庭の東端に50㎡の田んぼを作り、水田の土を他の地域から運んで土づくりを行い、桜井谷の5年生が校内の田んぼで米づくりを始めることができました。その後、田んぼの水がたまらなくなり、7年前に再度コンクリートで田んぼを整備してくださいました。土も桜井谷東校区で稲作をされなくなった田んぼからトラックで運び、米づくりにあう土を用意してくださいました。

いつも桜井谷地区の地域のみなさんの行動力、学校のために、子どもたちのために…のあったかい思いで稲作体験ができています。稲刈りのあとは、わらうちをして12月にはしめ縄づくりまで、田んぼボランティアさんに教えていただきます。こんな豊かな経験ができるのも桜井谷小学校ならではの体験をきっと思い出してくれることでしょう。

地域の田んぼボランティアさんに感謝です。



学校ホームページがリニューアルされました! QRコードから →

